

平成 16 年 9 月期 第 1 四半期決算短信(連結)



平成 16 年 2 月 9 日

会社名 **イーピーエス株式会社**

上場取引所 **JASDAQ**

コード番号 **4282**

本社所在都道府県 **東京都**

URL **http://www.eps.co.jp**

問合せ先 責任者役職名 **常務取締役人事・総務・経理担当**
氏名 **神宮 孝一**

TEL (03) 5684-7797 (代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 **無**

連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 **11社** 持分法適用非連結子会社数 **-社** 持分法適用関連会社数 **2社**

連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) **-社** (除外) **-社** 持分法(新規) **-社** (除外) **-社**

2. 16年第1四半期の連結業績(平成15年10月1日~平成15年12月31日)

(1) 連結経営成績 (注) 記載金額は百万円未満を切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年第1四半期	2,306	(29.0)	83	(146.0)	68	(93.9)
15年第1四半期	1,788	()	33	()	35	()
15年9月期	8,935		1,178		1,153	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
16年第1四半期	27	(4,106.3)	314	99		
15年第1四半期	0	()	24	12		
15年9月期	571		20,759	33		

(注) 持分法投資損益 16年第1四半期 0百万円 15年第1四半期 0百万円 15年9月期 0百万円
期中平均株式数(連結) 16年第1四半期 87,000株 15年第1四半期 27,000株 15年9月期 27,548株
平成15年11月20日付効力発生として1:3の株式分割を実施しております。その結果発行済株式の総数は、29,000株から87,000株となっております。

会計処理の方法の変更 **無**

売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益のパーセント表示は、対前期増減率であります。なお、平成15年9月期より四半期決算を導入しておりますので、平成15年四半期の対前期増減率は記載しておりません。

平成16年第1四半期の期中平均株式数及び1株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
16年第1四半期	6,516	4,317	66.3	49,626	02
15年第1四半期	4,165	2,348	56.3	86,980	99
15年9月期	6,573	4,321	65.8	149,029	91

(注) 期末発行済株式数(連結) 16年第1四半期 87,000株 15年第1四半期 27,000株 15年9月期 29,000株

(注) 平成15年11月20日付、効力発生として1:3の株式分割を実施しております。その結果発行済株数は、29,000株から87,000株となっております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年第1四半期	124	279	452	2,465
15年9月期	360	48	1,265	3,074

3. 16年9月期の連結業績予想(平成15年10月1日~平成16年9月30日)

平成16年9月期業績予想につきましては、平成15年11月21日に発表致しました予想を変えておりません。

経営成績及び財政状態

1. 経営成績

(1) 第1四半期の概況

当期におけるわが国経済は、輸出や生産の増加、株価の回復、企業業績の回復等漸く景気回復の兆しが見えはじめましたが、円高等により依然厳しい状況で推移しております。こうした中でも当社が属するCRO（医薬品開発業務受託機関）の業界及び子会社である株式会社イーピーリンクが展開しているSMO（治験施設支援機関）の業界は、引続き成長を続けており、非臨床事業の業界も、堅調に推移しております。

CRO事業につきましては、当社を中心に展開しております。

当社においては、長期試験の分野では抗高脂血症薬、糖尿病治療薬などの大規模市販後臨床試験は、引続きデータマネジメント、モニタリング業務を展開しております。

開発段階の試験につきましては、臨床企画開発部門においては、既存プロジェクト及び派遣業務の遂行とともに新規プロジェクトが稼動しております。また、前々連結会計年度より準備作業を進めてまいりましたバイオベンチャーのプロジェクトが本格稼動を開始しております。

登録・進捗管理業務、データマネジメント業務、統計解析業務に関しましては、臨床情報処理部門において引続き拡大を図ってまいりました。

また、当四半期には、バイオベンチャー企業との業務提携を締結し、臨床企画開発部門・臨床情報処理部門とも今後更なる拡大を図ってまいります。

臨床試験参加者募集向けコールセンター業務につきましては、計画より若干遅れておりますが、現在新規案件が準備中であり、今後随時稼動してまいります。また、医療機器開発業務につきましても、徐々に売上も伸びており、今後更に拡大を図ってまいります。

一方、連結子会社に関して、イーピーメディカル株式会社は、製薬会社向け人材派遣業務を中心に堅調に推移しております。

システム開発業務につきましては、オーライソフトウェア株式会社、その子会社である往来軟件（北京）有限公司は、中国IT技術者を活用した事業を進めておりますが、ソフトウェア開発需要が全般的に低迷したことにより苦戦しております。

その結果、CRO事業として連結売上高は、1,618百万円となり、連結営業利益は、106百万円となりました。

SMO事業につきましては、株式会社イーピーリンクにおいて展開しております。CRC（医療施設における臨床試験コーディネーター）業務と併せて地域医療機関との提携による臨床試験事務局などのサイトサポート業務が拡大しておりますが、受託案件の準備等の理由により進捗が若干遅れております。

その結果、SMO事業として連結売上高は、337百万円、連結営業損失は、70百万円となりました。

非臨床事業につきましてはエルエスジー株式会社において展開しておりますが、ほぼ予定通り堅調に推移しております。

その結果、非臨床事業として連結売上高は、360百万円、連結営業利益は、45百万円となりました。

上記の事業の種類別セグメント毎の連結売上高及び連結営業利益は、セグメント間の内部取引を含めて記載しておりますので、それを控除した結果、当連結売上高は、2,306百万円（前第1四半期連結会計期間比29.0%増）、連結営業利益は83百万円（同146.0%増）となりました。

なお、上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 品目別の受注高、売上高、受注残高

生産実績

区 分	当四半期 (平成16年9月期第1四半期) (千円)		前年同期比(%)
	受注高(千円)	売上高(千円)	
CRO事業			
データマネジメント業務		728,759	129.9%
モニタリング業務		720,498	141.1%
システム開発業務等		281,051	103.3%
CRO事業計		1,730,308	128.8%
SMO事業		336,160	118.4%
非臨床事業		359,265	113.3%
合 計		2,425,733	124.7%

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

受注実績

当連結会計年度における受注状況は以下のとおりであります。

区 分	当四半期 (平成16年9月期第1四半期)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
CRO事業				
データマネジメント業務	567,279	119.1%	2,282,309	91.8%
モニタリング業務	1,290,794	907.8%	4,449,297	233.5%
システム開発業務等	292,689	93.1%	334,387	100.6%
CRO事業計	2,150,762	230.5%	7,065,994	149.6%
SMO事業	416,790	8,335.8%	1,094,369	207.6%
非臨床事業	159,938	101.3%	209,051	352.2%
合 計	2,727,490	248.9%	8,369,414	157.6%

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

販 売 実 績

区 分	当四半期 (平成16年9月期第1四半期) (千円)	前年同期比(%)
CRO事業		
データマネジメント業務	721,811	146.2%
モニタリング業務	627,381	140.8%
システム開発業務等	260,947	105.1%
CRO事業計	1,610,140	135.6%
SMO事業	337,223	118.8%
非臨床事業	359,267	113.3%
合 計	2,306,631	129.0%

(3) 今期業績予想

今後のわが国経済は、一部の製造業および株式市場での回復が見られるものの、円高等により予断の許されない状況が予想されます。

当社では、データマネジメント・統計解析を行う臨床情報処理部門、モニタリング等臨床開発を行う臨床企画開発部門、長期大規模試験を行う臨床研究推進部門の三部門を中心に、被験者の募集登録を行う症例登録センター、臨床試験に関する薬品の安全性情報サービスを提供する安全性情報室、医療機器開発に関する調査・申請を行う医療機器開発部、情報収集と受注活動を行う企画推進部、海外での臨床試験関連業務を行う国際部から構成されており、今後もデータマネジメント、モニタリング、長期試験等の全分野でほぼ予定通り推移すると予想されます。

グループ会社では、中国IT技術者を活用したソフトウェア受託開発を行うオーライソフトウェア株式会社は中国子会社と伴に引続き新規プロジェクトの受注獲得に向け邁進してまいります。また、人材派遣業を行うイーピーメディカル株式会社は現在の製薬会社向けの人材派遣サービスにMR等の新たなサービスを追加すべく準備をしております。

SMO事業を行う株式会社イーピーリンクは、引続き受注拡大を見込んでおります。また非臨床事業を行うエルエスジー株式会社は、引続き安定した業容拡大が予想されますが円高による為替差損が懸念されます。

これらにより平成16年9月期の連結業績の見通しは、平成15年11月21日に発表しました予想を変更致しません。

平成16年9月期の連結業績予想(平成15年10月1日~平成16年9月30日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中間期	5,432	506	252
通 期	11,468	1,547	816

2. 財政状態

(1) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間において営業活動によるキャッシュ・フロー収入が124百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー支出が279百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー支出が452百万円となった結果、連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」と言う。）は、当第1四半期連結会計期末には2,465百万円（前連結会計年度末比609百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は124百万円が収入となりました。これは主に、売上債権の減少及び前受金の増加により571百万円の収入を得ることができましたが、前連結会計年度の法人税等353百万円の支出があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は279百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出200百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は452百万円の支出となりました。これは主に、連結子会社である株式会社イーピーリンクが100百万円の借入を実施したことによる収入と当社が500百万円の定期預金の預入を行ったことによります。

第1四半期連結財務諸表

第1四半期連結貸借対照表

区 分	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	2,965,340	1,064,217	1,901,122	178.6	3,074,955
2 受取手形及び売掛金	1,677,208	1,702,965	25,756	1.5	1,949,777
3 たな卸資産	201,340	207,101	5,760	2.8	121,850
4 その他	323,931	306,830	17,100	5.6	324,401
流動資産合計	5,167,821	3,281,115	1,886,706	57.5	5,470,984
固定資産					
1 有形固定資産	202,815	173,512	29,302	16.9	190,804
2 無形固定資産	81,037	62,247	18,790	30.2	79,042
3 投資その他の資産					
(1) 敷金・保証金	495,843	425,052	70,790	16.7	481,930
(2) その他	568,633	223,409	345,223	154.5	350,632
(3) 貸倒引当金		300	300	100.0	
投資その他の資産合計	1,064,476	648,161	416,315	64.2	832,563
固定資産合計	1,348,330	883,921	464,408	52.5	1,102,409
資産合計	6,516,151	4,165,036	2,351,114	56.4	6,573,394

区 分	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	251,708	215,452	36,256	16.8	182,355
2 短期借入金	100,000	206,220	106,220	51.5	
3 一年以内返済予定 の長期借入金	28,600	13,430	15,170	113.0	26,400
4 未払法人税	8,238	12,116	3,878	32.0	350,476
5 前受金	450,201	344,669	105,531	30.6	145,963
6 賞与引当金	80,572	73,028	7,543	10.3	283,862
その他	662,889	480,303	182,585	38.0	597,626
流動負債合計	1,582,210	1,345,221	236,988	17.6	1,586,683
固定負債					
1 長期借入金	31,600		31,600	100.0	38,200
2 退職給付引当金	135,044	95,933	39,110	40.8	123,910
3 役員退職慰労引当金	101,689	94,299	7,389	7.8	105,603
4 その他	10,259	3,459	6,800	196.6	20,047
固定負債合計	278,593	193,692	84,901	43.8	287,761
負債合計	1,860,803	1,538,913	321,889	20.9	1,874,445
(少数株主持分)					
少数株主持分	337,884	277,636	60,247	21.7	377,082
(資本の部)					
資本金	1,325,250	618,750	706,500	114.2	1,325,250
資本剰余金	1,275,300	568,800	706,500	124.2	1,275,300
利益剰余金	1,689,826	1,161,673	528,152	45.5	1,705,922
その他有価証券評価 差額金	38,169	149	38,019	25,413.5	25,971
為替換算調整勘定	11,082	886	10,195	1,150.0	10,576
資本合計	4,317,463	2,348,486	1,968,977	83.8	4,321,867
負債、少数株主持分 及び資本合計	6,516,151	4,165,036	2,351,114	56.5	6,573,394

第1四半期連結損益計算書

区 分	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
売上高	2,306,631	1,788,530	518,100	29.0	8,935,991
売上原価	1,725,198	1,354,984	370,213	27.3	6,173,727
売上総利益	581,433	433,546	147,887	34.1	2,762,264
販売費及び一般管理費	498,298	399,751	98,547	24.7	1,583,336
営業利益	83,134	33,794	49,339	146.0	1,178,927
営業外収益					
1 受取利息	1,361	2,041	679	33.3	5,554
2 保険解約益	1,558	468	1,090	233.0	7,918
3 受取手数料	830	865	35	4.1	5,803
4 持分法による投資利益		118	118	100.0	860
5 連結調整勘定償却	4,634	3,379	1,254	37.1	1,819
6 その他	996	1,165	169	14.5	9,299
営業外収益合計	9,381	8,039	1,341	16.7	31,255
営業外費用					
1 支払利息	870	1,369	499	36.5	5,405
2 為替差損	22,019	3,751	18,268	487.0	34,970
3 持分法による投資損失	511		511		
4 新株発行費					12,183
5 その他	1,105	1,632	526	32.3	4,512
営業外費用合計	24,507	6,753	17,754	262.9	57,072
経常利益	68,008	35,081	32,927	93.9	1,153,111
特別利益					
1 固定資産売却益		338	338	100.0	1,685
2 貸倒引当金戻入益	3,542	625	2,916	466.3	
特別利益合計	3,542	963	2,579	267.7	1,685
特別損失					
固定資産除売却損	4,495	685	3,809	555.7	3,916
特別損失合計	4,495	685	3,809	555.7	3,916
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	67,056	35,359	31,696	89.6	1,150,880
法人税、住民税及び事業 税	11,673	12,807	1,133	8.9	545,767
法人税等調整額	28,398	8,730	19,667	225.3	65,990
少数株主利益又は少数 株主損失()	420	13,169	13,589	103.2	99,225
第1四半期(当期)純利益	27,404	651	26,752	4,106.3	571,878

第1四半期連結剰余金計算書

区 分	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率	金額(千円)
(資本剰余金の部)					
資本剰余金期首残高	1,275,300				
資本準備金期首残高		568,800	706,500	124.2	568,800
資本剰余金増加高					
増資による新株の発行					706,500
資本剰余金四半期末 (期末)残高	1,275,300	568,800	706,500	124.2	1,275,300
(利益剰余金の部)					
利益剰余金期首残高	1,705,922				
連結剰余金期首残高		1,184,772	521,150	44.0	1,184,772
利益剰余金増加高					
四半期(期末)純利益	27,404	651	26,752	4,106.3	571,878
利益剰余金減少高					
1 配当金	43,500	22,950	20,550	89.5	49,950
2 役員賞与		800	800	100.0	640
3 その他					137
利益剰余金四半期末 (期末)残高	1,689,826	1,161,673	528,152	45.5	1,705,922

第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区 分	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	(参考) 平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前当期純利益	67,056	1,150,880
2 減価償却費	17,106	59,022
3 賞与引当金の増加額(減少額)	203,069	61,363
4 新株発行費		12,183
5 退職給付引当金の増加額	11,134	33,666
6 役員退職慰労引当金の減少額	3,914	15,897
7 受取利息及び受取配当金	1,361	6,206
8 支払利息	870	5,405
9 固定資産除売却損		3,916
10 売上債権の減少額(増加額)	266,657	543,206
11 たな卸資産の減少額(増加額)	85,205	13,327
12 仕入債務の増加額(減少額)	73,897	35,403
13 前受金の増加額	305,148	40,979
14 その他の流動負債の増加額	57,511	228,531
15 その他の増加額(減少額)	27,611	92,916
小計	478,218	947,441
16 利息及び配当金の受取額	1,236	5,695
17 利息の支払額	870	5,385
18 法人税等の支払額	353,911	586,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,672	360,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出	31,926	91,173
2 敷金・保証金に係る支出	43,575	81,919
3 敷金・保証金の回収による収入	29,417	18,011
4 投資有価証券の取得による支出	200,000	19,300
5 無形固定資産の取得	11,410	42,598
6 子会社株式の取得による支出	12,700	
7 連結範囲の変更を伴う子会社株式の買 い増しによる収入		192,543
8 その他	9,793	23,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	279,987	48,173
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 定期預金の預入れによる支出	500,000	
2 短期借入れによる収入	100,000	300,000
3 短期借入金の返済による支出		463,220
4 長期借入れによる収入		80,000
5 長期借入金の返済による支出	4,400	41,040
6 株式発行による収入		1,400,816
7 配当金の支払額	33,018	49,490
8 少数株主への株式の発行による収入		50,500
9 少数株主への配当金の支払額	14,925	11,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	452,343	1,265,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,956	4,411
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	609,615	1,574,147
現金及び現金同等物の期首残高	3,074,955	1,500,808
現金及び現金同等物の期末残高	2,465,340	3,074,955

第1四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項 目	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期)	(参考) 平成15年9月期
1 連結の範囲に関する事項	<p>子会社は株式会社イーピーリンク他10社であり、全て連結対象としております。</p>	<p>子会社は株式会社イーピーリンク他9社であり、全て連結対象としております。</p> <p>当四半期連結会計期間よりエルエスジー株式会社が、持分法を適用した関連会社から連結子会社となっております。</p> <p>その結果新たにKS INTERNATIONAL PTE LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREE-DING & RESEARCH CENTER, I-NC.、LS GLOBAL, INC. が連結対象となっております。</p>	<p>子会社は株式会社イーピーリンク他10社であり、全て連結対象としております。</p> <p>当連結会計年度よりエルエスジー株式会社が、持分法を適用した関連会社から連結子会社となっております。</p> <p>その結果新たにKS INTERNATIONAL PTE LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREE-DING & RESEARCH CENTER, I-NC.、LS GLOBAL, INC. が連結対象となっております。</p> <p>また、当連結会計年度より会社設立によりEVER PROGRESSING SYSTEM PTE, LTD. を新たに連結子会社としております。</p>
2 持分法の範囲に関する事項	<p>持分法を適用した関連会社は、GK REALTY CORPORATION他1社であります。</p>	<p>持分法を適用した関連会社は、GK REALTY CORPORATION他1社であります。</p> <p>当四半期連結会計期間よりエルエスジー株式会社が連結子会社となったため、持分法の適用範囲から除外されております。</p> <p>GK REALTY CORPORATION他1社は、持分の取得により当四半期連結会計期間より持分法の適用範囲に含めることと致しました。</p>	<p>持分法を適用した関連会社は、GK REALTY CORPORATION他1社であります。</p> <p>当連結会計年度よりエルエスジー株式会社が連結子会社となったため、持分法の適用範囲から除外されております。</p> <p>GK REALTY CORPORATION他1社は、持分の取得により当連結会計年度より持分法の適用範囲に含めることと致しました。</p>

項 目	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期)	(参考) 平成15年9月期
<p>3 連結子会社の四半期決算日(決算日)等に関する事項</p>	<p>連結子会社のうち、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司、KS INTERNATIONAL PTE LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER, INC.、LS GLOBAL, INC.の決算日は、12月31日であります。</p> <p>四半期連結財務諸表の作成に当たっては、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司は四半期連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>KS INTERNATIONAL PTE LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER, INC.、LS GLOBAL, INC.は9月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>なお、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>	<p>同左</p>	<p>連結子会社のうち、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司、KS INTERNATIONAL PTE LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER, INC.、LS GLOBAL, INC.の決算日は、12月31日であります。</p> <p>連結財務諸表の作成に当たっては、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司は連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>KS INTERNATIONAL PTE LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER, INC.、LS GLOBAL, INC.は6月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>なお、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>
<p>4 会計処理基準に関する事項 (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p>	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 当四半期決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>たな卸資産 仕掛品及び商品 個別法による原価法 ただし、一部の在外連結子会社は総平均法による低価法</p>	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 同左</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>たな卸資産 仕掛品 個別法による原価法</p>	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 当連結会計年度末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>たな卸資産 仕掛品及び商品 個別法による原価法 ただし、一部の在外連結子会社は総平均法による低価法</p>

項 目	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期)	(参考) 平成15年9月期
(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法	<p>有形固定資産 親会社及び国内連結子会社は定率法、在外連結子会社は定額法によっております。なお、主な耐用年数は、建物15年、器具及び備品4～6年であります。</p> <p>無形固定資産 自社利用ソフトウェアについて、利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>	<p>有形固定資産 同左</p> <p>無形固定資産 同左</p>	<p>有形固定資産 同左</p> <p>無形固定資産 同左</p>
(3) 重要な引当金の計上基準	<p>貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案した必要額を計上することとしております。</p> <p>賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当四半期負担相当額を計上しております。</p> <p>退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき当四半期連結会計期間末において発行していると認められる額を計上しております。</p> <p>数理計算上の差異は、当連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の日連結会計年度から費用処理しております。</p> <p>役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当四半期連結会計期間末要支給見込額を計上しております。</p>	<p>貸倒引当金 同左</p> <p>賞与引当金 同左</p> <p>退職給付引当金 同左</p> <p>役員退職慰労引当金 同左</p>	<p>貸倒引当金 同左</p> <p>賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、翌期支給見込額のうち当期負担相当額を計上しております。</p> <p>退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。</p> <p>数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の日連結会計年度から費用処理しております。</p> <p>役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給見込額を計上しております。</p>

項 目	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期)	(参考) 平成15年9月期
(4) 重要な外貨建資産または負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、当四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産、負債は当四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における「為替換算調整勘定」にふくまれております。	外貨建金銭債権債務は、当四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産、負債は当四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は資本の部における「為替換算調整勘定」に含めております。	外貨建金銭債権債務は、当連結会計年度末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産、負債は当連結会計年度末の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における「為替換算調整勘定」に含めております。
(5) 重要なリース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同左	同左
(6) その他第1四半期連結財務諸表(連結財務諸表)作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	消費税等の会計処理 同左	消費税等の会計処理 同左 自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準 当連結会計年度から「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)を適用しております。これによる当連結会計年度の損益に与える影響はありません。 また、連結財務諸表規則の改正により、当連結会計年度における連結貸借対照表の資本の部及び連結剰余金計算書については、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。 1株当たり情報 当連結会計年度から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。これによる1株当たり情報の算定に与える影響は軽微であります。

項目	当四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第1四半期)	(参考) 平成15年9月期
5 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(連結キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲	当四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。	同左	連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間(平成15年10月1日から平成15年12月31日まで)

	CRO事業 (千円)	SMO事業 (千円)	非臨床事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,610,140	337,223	359,268	2,306,631		2,306,631
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,068		1,035	9,103	9,103	
計	1,618,208	337,223	360,303	2,315,734	9,103	2,306,631
営業費用	1,511,668	408,128	314,417	2,234,213	10,716	2,223,497
営業利益	106,540	70,904	45,886	81,522	1,613	83,134

(注) 1 事業区分は、役務の種類によって製薬会社向けの医薬品開発業務受託(CRO)事業と医療機関向けの治験実施施設支援(SMO)事業と非臨床事業に区分しております。

2 各区分の主な役務の名称

(1) CRO事業.....データマネジメント業務、モニタリング業務、システム開発その他の業務

(2) SMO事業.....CRC業務、臨床試験事務局等のサイトサポート業務

(3) 非臨床事業.....非臨床段階における各種安全性試験の仲介業務及び実験用資材、動物の提供業務

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。